TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神様は愛　言は私たちの間に宿った！

ヨハネによる福音書 1 章 1～18 節

2025 年12 月 20 日 & 21 日

余沢　武　牧師

I. はじめに

メリー・クリスマス！今日、私たちはイエスの誕生日を一緒に祝うために集っています！ほかの宗教でも、特別な赤ちゃんの誕生を祝っています。

例えば、チベット仏教では、1985 年にスペインで産まれた男の子を、宗教指導者の生まれ変わりとして祝いました。また、2015 年にアメリカで産まれた男の子を、また別の宗教指導者の生まれ変わりとして祝いました。

キリスト教では、生まれ変わりを信じていません。では、なぜイエスの誕生はこれほどまでに特別なのでしょうか。イエスの弟子の一人であるヨハネは、晩年になってその理由を説明しています。まず、祈りましょう。

II. 言は私たちの間に宿った！

（1）言

ヨハネは理由をこのように説明します。

1-2 節:「[1] 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。[2] この言は、初めに神と共にあった。」

イエスが特別な存在なのは、初めから存在していた「言（ことば）」だったからです。

「初めに」という言葉は、旧約聖書の「創世記」のヘブライ語のタイトルです。そのため、ヨハネが「初めに」という言葉を冒頭で使うことによって、創世記 1 章にある創造の記述に私たちの心を向けさせます。創世記 1 章で神はこう言われます。

・「光あれ。」すると光があった。（創世記1章3節）

・「水の中に大空があり、水と水を分けるようになれ。」…そのようになった。（創世記1章6、7節）

ユダヤ人にとって「言」とは、万物を創造し、神の意志を実行する力、言語化された神の心を指します。古代人にとって「言」は話す言葉だけでなく、言語化されない言葉や理性、また、宇宙の理性と秩序も意味します。

例えば、腕時計を見ても、金属とガラスが自然に時計の形になったとは思いません。私たちは、誰かが考えて組み合わせたと想像します。同様に、古代の人々が日の出と日の入り、種まきと刈り取りを目にしたとき、誰かがそれを支配していると考えていました。これが「言葉」でした。

ヨハネが「初めに言があった」と言う時、すべてをイエスに帰し、イエスを通して、神が万物を創造し、神の御心を実行し、宇宙を支配している、を意味しています。

「**この言は、初めに神と共にあった**」とは、天地創造の前からイエスと父なる神は常に互いに向き合い、語り合っているという意味です。

「**言は神であった**」とは、イエスは神と一つであり、同じように考え、同じ事を望み、同じように行動します。私たちがイエスを見るとき、本質的に神や神に関するすべてを見るのです。

（2）言の内に成ったのは命と光であった

まだ続きがあります。

3-5 節:「[3] 万物は言によって成った。言によらずに成ったものは何一つなかった。[4] 言の内に成ったものは、命であった。この命は人の光であった。[5] 光は闇の中で輝いている。闇は光に勝たなかった。」

「万物は言によって成った」、「言」であるイエスを通してすべてが創造されました。それだけではなく、「言の内に成ったものは、命であった。」イエスは命、つまり永遠の命、神の命を持っています。

さらに私たちを永遠の命に導いてくれる「闇の中で輝いている」「人の光」です。

街灯が一つもない田舎道を車で走ったことがありますか。あたり一面真っ暗で、どこに向かっているのか全く分かりません。でも、誰かが先に運転しはじめた

ら、道はあっという間に開けます。ライトが先導してくれるからです。

イエスは暗闇の中の光であり、私たちを永遠の命に導いてくれます。

6-9節:「[6]一人の人が現れた。神から遣わされた者で、名をヨハネと言った。[7]この人は証しのために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じる者となるためである。[8]彼は光ではなく、光について証しをするために来た。[9]まことの光があった。その光は世に来て、すべての人を照らすのである。」

私が4歳の時、明け方の午前4時頃に、家族に起こされました。アポロ11号が初めて月面に着陸するからです。歴史的な出来事でした。私たちは何時に起きて、着陸の瞬間を見るべきかをどうやって知ったのでしょうか。新聞やテレビ、そこら中に宣伝されていたからです。

「言」であるイエスが命を与えるために来られた前に、それは予告されていました。古代の預言者である洗礼者ヨハネが現れ、ラクダの皮をまとい、イナゴと蜂蜜を食べながら、イエスが来ることを人々に告げていました。

10-13節:「[10]言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。[11]言は自分のところへ来たが、民は言を受け入れなかった。[12]しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には、神の子となる権能を与えた。[13]この人々は、血によらず、肉の欲によらず、人の欲にもよらず、神によって生まれたのである。」

それでも多くの人はイエスを「認め」ませんでした。一方で、イエスを「受け入れた人…には、神の子となる権能を与え」ました。つまり、神の家族の共通の性質を持つように変えられました。

(3)　言は肉となった

どのように変えられたのでしょうか。

14節:「[14]言は肉となって、私たちの間に宿った。私たちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。」

そのクリスマスの日に、最も素晴らしい事が起こりました。「言」、つまり万物を創造し、神の御心を行い、命を与えることができる神の心の表現が、人間の体、イエスとして私たちの前に誕生しました。そしてイエスは「私たちの間に宿った」のです。

ギリシャ語の「宿る」という言葉は、旧約聖書で「幕屋を組み立てる」を意味する言葉と同じです。ですから、神の御心を表し、宇宙を支配し、命を与えることのできる「言」であるイエスは、私たちの間で二つ目の幕屋となりました。

後に神殿となった幕屋は、神が人間と共に住まわれた場所だったことを思い出してください。中には「聖所」と呼ばれる部屋があり、祭司だけが入ることができました。
右側には、神と人間の交わりの象徴である台と備えのパンがありました。
左側には、神の導きの象徴である燭台がありました。
正面には、香の祭壇があり、そこで祈りの象徴であるお香が焚かれました。

さらに奥の部屋には、神の御臨在が宿る「至聖所」がありました。
一年に一度の「贖罪の日」に、大祭司だけがその部屋に入れました。
入る前に、大司祭は自分と民の罪のために動物の生贄を捧げ、生贄になった動物の血を部屋に持ち込み、契約の石板の入った契約の箱の上に振りかける必要がありました。民が十戒が書かれている契約の石版に対して罪を犯したためです。
生贄の動物の血によって民の罪は象徴的に赦され、大祭司は神と共にいられるのですが、それは象徴に過ぎないので、毎年繰り返さなければなりません。
時折、神はその場所を神の栄光で満たして、民に神の栄光を見せていました。

こうして、命を与える神の御心を表わす「言」は、あのクリスマスの日に人間の体を持ってイエスとなって現れ、私たち人間の間に二つ目の幕屋となりました。そして今、イエスを通して、私たちは
神との交わりを持ち、神の導きを受け、神に祈りを捧げることができます。
神の御前に出ることができます。

この幕屋に入る前に、イエスは私たちの罪のために生贄を捧げました。しかし、動物を象徴的に生贄として捧げるのではなく、イエスはご自身を捧げて罪を永久に取り除いてくださいました。私たちの罪の深さゆえに、イエスは最も残酷な罰を受けました。

それは十字架刑でした。

その残酷さゆえに、ローマ市民への十字架刑は禁じられていました。ローマの政治家キケロは十字架刑を非難し、後にコンスタンティヌス帝によって禁止されました。なぜなら、人を十字架につけるとき、
5 ～7 インチ(約 13～18cm)の釘が、人体で最も敏感な神経中枢のある手足に打ち込まれました。受刑者は苦痛の叫び声を上げ、体が痙攣しました。
十字架が穴に落とされ、体が激しく揺れました。
そこから受刑者はゆっくりと忍び寄る苦痛に満ちた死に耐えなければいけませんでした。肺で呼吸をするために足を上げ続け、力が尽きると、窒息して死に至りました。
これらはすべて公衆の面前、裸で、しかも嘲笑する人たちに囲まれて行われました。痛みのあまり、失禁し、汗、血、尿、そして排泄物が下にたまってしまう人もいました。
大抵は虫が傷口、目、耳、鼻に入り込み、鳥がそこに襲いかかりました。

このような中で、神の御心の表れである「言」が、私たちのすべての罪の罰を負いました。そしてイエスは祈りました。**「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか分からないのです。」(ルカ 23 章 34 節)**
そして私たちは神の栄光、神の愛、神の恵みと真実に満ちている性質を見ます。
イエスが十字架の上に流した血によって、私たちの罪は赦され、永遠の命が提供されました。

だからこそ、神の御子は特別なのです。イエスは神であり、私たちに命を与える神の心の表われなのです。

15-18 節:「[15] ヨハネは、この方について証しをし、大声で言った。「『私の後から来られる方は、私にまさっている。私よりも先におられたからである』と私が言ったのは、この方のことである。」 [16] 私たちは皆、この方の満ち溢れる豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを与えられた。[17] 律法はモーセを通して与えられ、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。[18] いまだかつて、神を見た者はいない。父の懐にいる独り子である神、この方が神を示されたのである。」

いまイエスを通して、神の性質が私たちに明らかにされています。いまイエスを通して、私たちの罪は赦され、神の真の性質と真の命を受けられます。そして、神の御臨在の内にいつまでも留まれます。

最近、32 歳の日本人女性が AI 生成キャラクターと結婚したという記事を読みました。1日に多い時で 100 回もメッセージを交換しているそうです。AI と結婚するのは珍しいかもしれませんが、今では多くの人が AI と日常的に会話し、どう考えて、何を望み、いかに行動するか指示を受けています。

ヨハネはこう語っています。クリスマスのおかげで、私たちはより良いものを得ました。神と直接話し、神の助けによって、私たちがどのように考え、望み、生活し、愛するべきか導きを受けることができます。

私たちがそれらを得られるのは、自らの罪を認め、イエスが与えてくれる赦しと命を受け入れる時です。だからこそ、クリスマスの御子は特別なのです。文字どおりに、私たちの人生を変えて、神の愛の性質と真の永遠の命を私たちに与えることができます。今日、この御子を受け入れてください。メリー・クリスマス！

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201



キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://t-b-c.us/sg5225jp

奉仕者募集中！

急募！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 か月半～2か月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org

★クラス 301
賜物発見
1 月 18 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 201 まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 401
人生の使命を発見する
2月 8 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 301 まで修了した、TBCメンバーの方

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes